

前期基本計画 平成29年度 施策方針書

政策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

施策：01 環境にやさしく快適な下水道の整備

施策担当職・氏名 下水道課総括主査 久保 雪子

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

「滝沢市汚水処理実施計画」に基づき整備促進を図っており、平成27年度末現在において、汚水処理整備人口45,413人、整備率82.5%となっています。景気の低迷等の影響で、民間開発区域の整備や入居が計画より遅れているほか、市施行分についても国道4号拡幅関連の巣子地区などの工事が他工事との調整などで少し遅れ気味となっている一方、平成25年度に事業計画区域に編入された小岩井地区24haの工事着手等により、合併浄化槽を含めた水洗化率は目標値を上回っています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

公共下水道事業については国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を、浄化槽設置整備事業については循環型社会形成推進交付金をそれぞれ活用することとしていますが、国からの交付金確保は不透明な状況にあり、また資材や人件費の高騰・消費税増税・入札不調など、今後の事業の進捗に対し悪影響が予想されます。また、国の経済対策は市民への景気好転に依然至らず、少子高齢化などの影響もあり、下水道や合併処理浄化槽などへの切替費用を確保できないなど経済的理由による接続率の低下が懸念されており、これらの多様化する住民ニーズの変化への対応が求められています。

(3) 基本施策との関連性

汚水処理施設の整備を促進することにより、政策にある「ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します」の実現が図られるものと考えます。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- 平成28年度策定の「滝沢市下水道事業経営戦略」や平成26年度策定の「汚水処理実施計画」に基づき、公共下水道事業及び合併処理浄化槽設置整備事業により、汚水処理の整備を推進します。
- 公共下水道については、「アセットマネジメント」及び「ストックマネジメント」の考え方にに基づき、老朽化施設の長寿命化対策を進め、下水道施設の事故発生や機能停止の未然防止、施設の維持管理コストの最適化を推進します。
- 合併処理浄化槽については、市補助分の適正な設定により普及促進を図ります。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題

- 施設管理の最適化に向けた「ストックマネジメント」の推進
- 合併処理浄化槽普及促進のため助成制度の周知
- 下水道への接続促進に対応する助成制度の周知

(3) 基本計画内方針及び平成29年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- 長期的視点で下水道施設全体の老朽化の進捗状況を把握し、リスク評価等を行った上で優先順位付を行う「ストックマネジメント」を基に行います。

